

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名             |    | 公表日                                                                                   |    |     |                                                                                                               |                                                     |
|------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| クリエイティブ・クルー ジュニア |    | R7年10月28日                                                                             |    |     |                                                                                                               |                                                     |
|                  |    | チェック項目                                                                                | はい | いいえ | 工夫している点                                                                                                       | 課題や改善すべき点                                           |
| 環境・体制整備          | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                          | ○  |     | 少しでも活動スペースを確保する為、不必要な物は、その都度片付けをしている。                                                                         |                                                     |
|                  | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                      | ○  |     | 療育の質や安全を確保できる職員体制を積極的に整えていけるように人材確保に努めている。                                                                    | 最低基準等は満たしてはいるが、人数や活動内容によっては、配置に不足を感じることもある。         |
|                  | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○  |     | 事業所がマンションの為、改築改善が難しい。その為、危険が考えられる箇所には、代替になる物品や予防策を講じている。                                                      |                                                     |
|                  | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | ○  |     | 療育終了後には、消毒・清掃を行い衛生面に気を付けている。                                                                                  |                                                     |
|                  | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                            | ○  |     | それぞれのお子さんに目標に合わせ、個別の部屋や別室での療育をができるように整え、プログラムを構成している。                                                         | 今後もお子さんに合わせた療育ができるよう環境面についても検討を重ねていく。               |
| 業務改善             | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                        | △  |     | 業務上、円滑に進んでいないことに関しては、その都度日々の打ち合わせなどで、検討や改善を行っている。また、活動に関しても、事前に打ち合わせするなどして、少しでもお子さんに合った内容になるように検討している。        |                                                     |
|                  | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                  | ○  |     | 保護者から頂いたご意見を職員間で話し合い、改善点の検討や意識をもってお子さんの支援することを再確認している。またその中で、より具体的な方法についても検討するように心がけている。                      | 今後ともご意見を頂きながら、改善の必要性などを検討していく。                      |
|                  | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                | ○  |     | 職員会議や日々の打ち合わせやなるべく振り返りの時間を作っている。しかし、日によっては振り返りの時間を取りにくいこともある。                                                 | 今後とも、継続的に打ち合わせや振り返り時間をより充実できるような職員体制や業務内容の改善を行っていく。 |
|                  | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                      |    | ○   | 現在は、評価をしてもらっていない。                                                                                             | 必要に応じて、法人で検討していく。                                   |
|                  | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                     | ○  |     | 支援にあたる上での、より専門的な視点や知識について触れる機会を作るようにしている。また外部での研修についても積極的に参加できるように努めている。                                      | 今後とも事業所内に関わらず、外部での研修についても職員に周知し、積極的に職員の学びの場の確保に努める。 |
|                  | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                               | ○  |     | 作成、公表を行っている。                                                                                                  | 今後とも内容の吟味を継続的に行い、より良い支援プログラムへとつなげていく。               |
|                  | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                | ○  |     | 事業所においてのモニタリング、アセスメント等をしっかりと行いながら、またそれぞれの場所での様子も保護者に伺いながら分析を行っている。また必要に応じて、ご本人と面談を行いながら、目標を決定するなどのことも取り入れている。 |                                                     |
|                  | 13 | 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。        | ○  |     | お子さんの置かれている環境（家庭など）も含め背景を捉えながら、「今」だけでなく、「将来」のことも見据えた視点や家族への応援という視点も持ち、検討を行っている。                               |                                                     |
|                  | 14 | 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                     | ○  |     | 個別支援計画の共有を行い、日々の療育を行っている。                                                                                     |                                                     |
|                  | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。   | ○  |     | 事業所で独自に作成しているアセスメントを用いている。また、保護者にも他機関等での発達検査を提出して頂くなどの協力もして頂いている。また、日々の行動観察を行う中で、分析をより重点的に行っている。              |                                                     |

|          |    |                                                                                                                           |   |  |                                                                                                                          |                                                    |
|----------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 16 | 個別支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ |  | それぞれの視点、またお子さんを総合的に捉えた上で、支援内容や項目での設定をしている。特に、家族支援、移行支援などの本人支援以外の点の充実を図っている。                                              |                                                    |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                    | ○ |  | 毎回、活動内容を決める際には、職員間で前回のプログラムの内容を踏まえ決定している。また、その時のお子さんの様子を共有した上で、検討をしている。                                                  |                                                    |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                  | ○ |  | ある程度の積み重ねが必要な活動プログラムについては、あえて固定化することでお子さんの力につなげている。また、同じ活動であったとしても、難易度を変えたり作っている物に変化をつけるなどして、お子さんの課題に向き合える内容になるよう工夫している。 | お子さんの経験や視野の広がりにつながるように常に活動プログラムについて、職員間で検討を重ねていく。  |
|          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                                       | ○ |  | お子さんの状況や目標に合わせて、個別での活動や集団での活動を取り入れている。また、生活年齢や一日の活動でのバランスも考えた上で、支援を行っている。                                                |                                                    |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                                           | ○ |  | 必ず当日の流れや職員の配置を打ち合わせにて行っている。また、お子さんに合った支援ができるようにねらいや配慮、工夫についても職員間での確認を行っている。                                              |                                                    |
|          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                                    | △ |  | お子さんの様子だけでなく、職員の関わりや次回にどう活かすかなど話し合っている。振り返りについては、日によっては難しい時もある。その場合は、次回の打ち合わせ時に前回の様子なども踏まえた内容を話すようにしている。                 | 今後も、継続的に打ち合わせや振り返り時間をより充実できるような職員体制や業務内容の改善を行っていく。 |
|          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                                    | ○ |  | 必ず記録をとっている。また、記録の際には、お子さんの状況だけでなく、その背景として考えられることや次回に向けての視点や関わりについても触れるようにしている。                                           |                                                    |
|          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                                           | ○ |  | 保護者、職員間でお子さんの様子の振り返りと共有を行い、個別支援計画の見直しにつなげている。                                                                            |                                                    |
|          | 24 | (放課後等デイのみ)<br>放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。                                                               | ○ |  | さまざまな目標を持ちながら、複数の活動を組み合わせている。                                                                                            |                                                    |
| 関係機関     | 25 | (放課後等デイのみ)<br>こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                                                        | ○ |  | 療育プログラムの中でも、自分で「選ぶ」「考える」「やってみる」「修正する」などの過程を用意している。また、必要に応じて、ご本人と面談を行いながら、目標を決定するなどのことも取り入れている。                           | 生活年齢にも注目しながら、お子さんそれぞれの自己決定をする機会を積み重ねられる支援を充実していく。  |
|          | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                                  | ○ |  | 児童発達支援管理責任者が基本的に参加している。参加する前には、職員全体からお子さんの様子などを共有している。                                                                   |                                                    |
|          | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                                | ○ |  | 保護者や担当相談員を介して関係機関とつながり、連携を図っている。また、定期的に学校、こども園とも情報交換を行っている。                                                              |                                                    |
|          | 28 | (放課後等デイのみ)<br>学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。                                     | ○ |  | 基本的に、保護者を介しながら行っている。また近隣の特別支援学校においては、メール配信などをして頂き情報を得ている。                                                                |                                                    |
|          | 29 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                | ○ |  | 保護者を中心に、現在までの関係機関との情報共有や連携を積極的に行っている。また、就学や進学、進級に合わせても連携できるように努めている。                                                     |                                                    |
|          | 30 | (児童発達支援のみ)<br>就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                      | ○ |  |                                                                                                                          |                                                    |
| 関係機関     | 31 | (放課後等デイのみ)<br>就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                                    | ○ |  |                                                                                                                          |                                                    |

|                                                |    |                                                                                            |   |   |                                                                                                                             |                                           |
|------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 関<br>連<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 32 | (放課後等デイのみ)<br>学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | ○ |   | 現在は対象の児童がいないが、今後に向けて情報の提供や共有を行っていく予定である。                                                                                    |                                           |
|                                                | 33 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                                    | ○ |   | 現在は、機会を設けていないが、必要に応じて行っていく。また、センター主催の研修などにも積極的に参加も行っていく。                                                                    |                                           |
|                                                | 34 | (放課後等デイのみ)<br>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                       |   | ○ | 現在は、行っていない。                                                                                                                 | 現状として、予定はないが、必要に応じて検討していく。                |
|                                                | 32 | (児童発達支援のみ)<br>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                  |   | ○ | 現在は、行っていない。                                                                                                                 |                                           |
|                                                | 35 | (放課後等デイのみ)<br>(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。                                                      | ○ |   | 業務上、可能な限り参加するようにしている。                                                                                                       |                                           |
|                                                | 36 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                           | ○ |   | 児童発達支援については、親子通所を基本としており、日々の療育時間中に保護者とお子さんの様子を都度確認もしくは、支援内容についてお伝えさせて頂いている。放課後等デイについては、送迎時や療育時間中、連絡帳において、保護者と情報共有や理解を図っている。 |                                           |
|                                                | 37 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | ○ |   | 児童発達支援に関しては、上記記載の内容の機会を作っている。また、保護者向けのサポートブック作成講座などを行い、お子さんへの理解を深める機会を作っている。                                                | 今後も、継続的に企画する。また保護者からの希望も募り、内容についても検討していく。 |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等           | 38 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                       | ○ |   | 契約時に、書面を通して説明させて頂いている。                                                                                                      |                                           |
|                                                | 39 | 個別支援計画を提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。            | ○ |   | 必要に応じて、お子さんと保護者での3者面談も行いながら、目標を決定するなどのことも取り入れている。                                                                           |                                           |
|                                                | 40 | 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                       | ○ |   | 必要に応じて、お子さんにも同席してもらい説明を行っている。                                                                                               |                                           |
|                                                | 41 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | ○ |   | 保護者からの要望だけでなく、必要に応じてこちらからも声をかけさせて頂き、面談等につなげている。また事業所のLINEを開設するなどして相談しやすい環境作りにも努めている。                                        |                                           |
|                                                | 42 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 |   | ○ | 現在研修等は行っているが、そのような機会はまだ作れていない。                                                                                              | 今後、保護者同士が話ができる機会を設けていきたいと思っている。           |
|                                                | 43 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | ○ |   | 契約時に苦情窓口の案内をしている。また、そのようなことがあった場合は、職員間ですぐに共有し、改善や対応をしている。                                                                   | 日頃からの保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、対応していく。       |
|                                                | 44 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | ○ |   | 更新の頻度が少なくなってしまうこともあるが、情報発信するツールは用意している。                                                                                     | 更新が随時できるように、業務時間の確保しながら、取り組んでいく。          |
|                                                | 45 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | ○ |   | お子さんが過ごす場所での個人名が記載されているようなものは、目目に触れないようにするまた、他曜日の利用のお子さんなどの名前を出すことがないようにするなどの工夫をしている。                                       |                                           |
|                                                | 46 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | ○ |   | お子さんにとってわかりやすい情報の提示や意思疎通のツールの確立、方法についてを検討しながら支援している。また、保護者ともLINEや連絡帳などを利用しながら、意思疎通や情報伝達の方法の確保を行っている。                        |                                           |
|                                                | 47 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      |   | ○ | 現在、そのような行事等を行っていない。                                                                                                         | 必要に応じて、検討する。                              |

|         |    |                                                                                  |   |  |                                                                                                                         |               |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------|---|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 非常時等の対応 | 48 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。  | ○ |  | 事業所玄関にてそれぞれのマニュアルのファイルを用意し、保護者にいつでも閲覧してもらえるようにしている。また、契約時にもそれぞれの対応についてを説明している。訓練も定期的に行い、周知ともしもの時の場合を想定して保護者と情報共有を行っている。 |               |
|         | 49 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                        | ○ |  | 法人内での訓練を計画している。また、さまざまな非常時を想定し、定期的に避難訓練を行っている。                                                                          |               |
|         | 50 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                              | ○ |  | 契約時や新年度を迎えるタイミングで、健康調査書およびアレルギー調査書を保護者に記載して頂いている。また、そのことを職員間で共有できるように一覧にしている。                                           |               |
|         | 51 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                           | ○ |  | 必要に応じて保護者から情報を頂き、指示を仰いでいる。                                                                                              |               |
|         | 52 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                     | ○ |  | それぞれの療育場面で考えられる事態を日頃から職員間で話し合い、安全策を事前に講じるなどして支援を行っている。                                                                  |               |
|         | 53 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                        | ○ |  | 保護者へ安全確保のための具体策を契約時に伝え、協力を呼びかけている。                                                                                      |               |
|         | 54 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                          | ○ |  | 毎月の職員会議及び日々の打ち合わせや振り返り時にヒヤリハットを職員間で共有し、その場で今後の対応を検討している。                                                                |               |
|         | 55 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                             | ○ |  | 外部の研修なども積極的に参加し、日々の療育でのお子さんとの関わりについてを、虐待防止という観点で職員間で話し合う機会を持つようにしている。                                                   |               |
|         | 56 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ |  | まだ対象のお子さんはいらっしゃらないが、体制は整備している。                                                                                          | 必要に応じて支援していく。 |

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                     |           |    |
|----------------|---------------------|-----------|----|
| ○事業所名          | クリエイティブ・クルー ジュニア    |           |    |
| ○保護者評価実施期間     | R7年9月2日 ～ R7年9月20日  |           |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)              | 23 (回答者数) | 23 |
| ○従業者評価実施期間     | R7年9月25日 ～ R7年9月30日 |           |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)              | 3 (回答者数)  | 3  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年10月14日           |           |    |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                                                                                 | さらに充実を図るための取組等                                                     |
|---|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1 | それぞれのお子さんに合わせた療育、また先を見据えた応援ができるように日々努めている。 | 職員間で限られた時間ではあるが、日々のお子さんの様子を分析して、次の関わりへとつなげている。また、必要に応じて、職員自身が学べるような内容を児発管より伝えている。                                                                                                     | 現在の取り組みを充実させる時間の確保が課題となっている。その為の人材確保や業務の工夫などを日々行っている。              |
| 2 | 保護者とお子さんについての共有、家族支援の充実。                   | 児童発達支援では、親子通所を基本としており、療育場面を通して保護者とお子さんの姿を共有している。また、より具体的に家庭での取り組みや関わりについても保護者と話す機会となっている。<br>放課後等デイでは、何かお子さんの変化、成長が見えた時には、保護者と共有するようにしている。また、相談してもらいやすいようにLINEや連絡帳などを通じて保護者とやり取りしている。 | 今後も、保護者と情報を共有し、ご本人への応援また家族支援へとつなげていきたい。また保護者同士の交流の場などを作るなどもしていきたい。 |
| 3 |                                            |                                                                                                                                                                                       |                                                                    |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること            | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                               | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                                |
|---|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 現在も取り組んでいるが、より充実した職員チームでお子さんの支援について考える時間や研修の充実を目指したい。 | 最低基準は満たしているものの、安定した事業運営や更なる療育の質の向上などを考えると職員体制の不十分さを感じている。現在の人材不足問題の影響も受けているようにも見える。また、事業所の強みを周知できていないのも要因ではないか。 | 業務内容の工夫に取り組む。そして、少しでも働きやすい環境を用意できるように努めながら、人材確保を目指す。また、事業所自体の広報活動に取り組み、さまざまな方に知ってもらい人材確保にもつなげていきたい。 |
| 2 | 保護者同士の交流の場の確保。                                        | 昨年度からの開設で、まずは保護者と事業所の関係づくりからであった。お子さんはじめ保護者のニーズをまず知っていくことを目標にしていたのもあり、そのような機会を作ることができなかった。                      | 今後は、保護者同士の交流の場や引き続き講座や研修を積極的に行えるように年間計画などに盛り込んでいく。また、その際には日頃からの保護者のニーズも参考にしながら企画していく。               |
| 3 |                                                       |                                                                                                                 |                                                                                                     |